

倉敷市内の 26 中学校区の推進委員同士の 出会い！ふれあい！つながり！

人権学習推進委員交流会 7月2日(土) ライフパーク倉敷にて

7月2日(土)、ライフパーク倉敷で第10回人権学習推進委員交流会が開催されました。3年ぶりの開催で、大ホールは63名の参加者でにぎわいました。



26中学校区の活動を紹介する展示物が視聴覚ホール内にあり、交流会が始まるまで、その展示を見させていただきました。どこの学区でも非常に熱心な活動が行われ、各学区の共通した取り組みとして「地域との連携」がありました。玉島東中学校区でも、ますます地域連携を図り、その活動を通じて人権尊重の大切さを学び、みんなが互いに尊重し合える社会をつくっていくことが必要だと感じました。

交流会のオープニングでは、昨年度岡山県教育委員会が県内の学校に募集した「私の人権メッセージ動画チャレンジ」で表彰された、呉妹小学校と西中学校の動画が上映されました。体の不自由な人やLGBTなどについて考えさせられる内容でした。

次に、令和3年度に公開された「倉敷市人権問題意識調査」の結果の紹介と人権教育推進室が発行している保護者向けリーフレット「性の多様性」を使ったミニ研修が行われました。過去5年間で人権問題に関する講演会や研修会に参加したことがない人が8割もいることに一番驚きました。

最後に、「ブラインドサッカー」を行う岡山デビルバスターズの皆さんを講師として迎え、代表の人10名が、アイマスクをして点字ブロックを歩いたり、パスを受け取ったりすることで、目の見えない大変さを体験しました。今後、白杖を持っている人には勇気をもって声をかけることの大切さやどのように手助けすればよいかなどを学びました。

事務局長



行事のお知らせ

人権標語・ポスター展

12月4日(日)～1月8日(日)

玉島東中学校区の小・中学生の人権標語とポスターを展示します。若い人たちの願いがあふれる空間にどうぞお越しください。



※写真は令和3年度のものです。

玉島東中学校7・8・9組作品展

2月1日(水)～2月9日(木)

玉島東中学校の特別支援学級で勉強する生徒さんの作品を展示します。作品に込められた想いにふれてみましょう。



※写真は令和2年度のものです。

広報紙「輝き」は、玉島中央愛育委員会、上成地区社会福祉協議会、乙島地区愛育委員会、乙島東地区町内会長の皆様のご協力により、玉島東中学校区全戸に配付しております。

《広報紙についてご意見・ご感想がありましたら、事務局までお知らせください。》

人権啓発

輝き

(第52号)

発行日 令和4年10月1日

発行者 玉島東中学校区人権学習推進委員会

事務局 倉敷市玉島東公民館

所在地 倉敷市玉島乙島 6897-2

TEL/FAX (086)526-7726



令和4年度の活動がはじまりました！

推進委員会 総会 6月5日(日) 玉島東公民館にて

令和4年度玉島東中学校区人権学習推進委員会総会が、2度の中止を経て3年ぶりに開催され、推進委員・事務局員・倉敷市教育委員会など関係者47名が出席しました。新型コロナウイルス感染症防止対策として、マスク着用、受付時の手指消毒・検温、推進委員自己紹介の省略などによる開催時間の短縮、通常より間隔を空けた座席の配置などを行いました。

冒頭挨拶で三宅会長が、閉会挨拶で瀧澤副会長のお2人がいずれも「2年連続で様々な事業が中止・延期となりました。今まで築いてきた地域の交流を大切にするため、今年度は感染状況を考慮しながら、対策を行い可能な形で事業を実施できれば。」と述べられました。

事務局



玉島小学校 PTA 人権教育講演会 6月25日(土) 玉島小学校にて

演題「子どもの幸せのために」 講師／椿崎 明生 (玉島小学校元校長)

講演要旨：

コロナ禍が2年以上経過し、常時マスク着用が一般となっている現状において、顔の表情で伝える、読み取る、といった非言語コミュニケーションがとりづらくなっています。コミュニケーションの発達段階にある児童において、発達への影響が気になります。



子どもたちに接するとき、例えば学校という一つの価値基準で見ると、気づきができなくなることがあるので、それぞれの子どもの良さを見つけて、認め合う関係性を大事にしてあげてほしいです。家庭での生活においても、ステレオタイプで決めつけをしないで、子どものやる気加減を見てあげてほしいです。できないこと、やらないことがあっても、少し余裕をもって聞いてあげてください。

人権とは、いのちのこと、幸せに生きていくこと、自分らしくいられることです。障がいをもつ子ども、自分の性に違和感がある子ども一定数いるので、関心をもって子どもを見てあげることが大事です。弱さを受け入れてもらえると、子どもたちは安心をします。子どもにとって一番身近にいる大人として、しっかりと子どもたちを見てあげてください。

感想：

ともすれば親のものさしで子どもに接しがちになり、子ども本人をしっかりと理解するということがおざなりになってしまうという気づきをいただきました。できないことを指摘するのではなく、まずはありのままの頑張る姿を応援し、また頑張れない時は寄り添いの気持ちをもって接していきたいと思えます。

推進委員

交流を、この先もつないでいけるように・・・

大樹の皆さんへ 手作りのマラカスをプレゼント

7月27日(水) 社会福祉法人大樹 玉島作業所にて

毎年<大樹玉島作業所>と<大樹洲崎作業所>の皆さんと一緒に、お昼ご飯を作ったり工作をしたり、一緒に踊ったりして交流する【大樹とのふれあい交流会】を実施していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため令和2年度・令和3年度と2年連続で中止となっています。今年度の開催も難しい状況が続いているため、なにか別の形で大樹の皆さんと交流を続けていけないかと事業部で相談し、交流会と一緒に作る予定だったペットボトルのマラカスをプレゼントすることにしました。

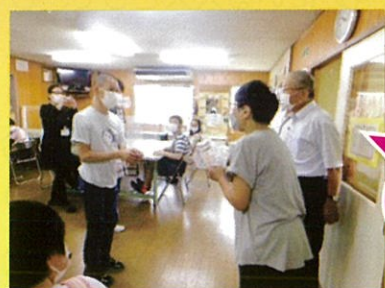
今年度の交流会を手伝っていただく予定だった保育園・認定こども園のご協力でペットボトルを集め、7月17日に事業部の5名でマラカス作りを行いました。ペットボトルに小さな鈴やビーズを入れてマスキングテープやシールでデコレーションした、手作りのマラカスを50個完成させました。



マラカス作りの様子

7月27日に玉島作業所でマラカスの贈呈式を行いました。小野副会長が「皆さんと楽しく過ごす交流会がなかなかできず残念ですが、開催できるようになったら今度は一緒に作りましょう。」と笑顔で述べられ、戸田事業部長も「またみんなで楽しく踊ったり歌ったりできるのを楽しみにしています。」と手作りのマラカスを玉島作業所の代表者2名に手渡しました。その後、作業所の職員の方々にマラカスを配っていただき、カラカラと鳴る音を楽しむ姿を見ることができました。

事務局



1つ1つ
ラッピング♪

来年は交流会が
できますように！

“ちむどんどん”する人生を！

玉島東公民館人権教育講演会

9月4日(日) 玉島東公民館にて

演題：健康人生『ちむどんどん』 講師：安原 尚蔵 (ヤスハラ医院 医院長)

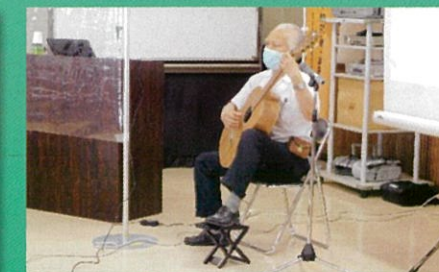
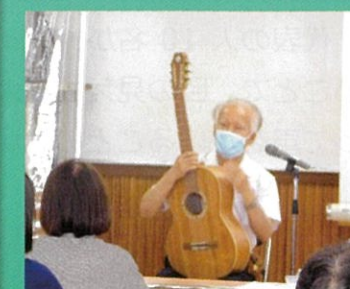


ヤスハラ医院の安原先生は、玉島中央町で昭和51年から46年間の長きにわたり、私たちの地域の医療を支え続けてくださっているお医者様です。とてもユーモアがあり、冗談交じりに語られるお話に、会場は常に笑いが起こり、講演時間の90分間があっという間に感じられました。

“ちむどんどん”とは、沖縄の方言で、「胸がわくわくする」という意味だそうです。安原先生はご講演の中で、趣味のギター作製やウォーキング、ご自身と大原孫三郎とのつながりについて調べた経験などのお話を通して、自分のやりたいことや大好きなこと(“ちむどんどん”すること)をみつけて、コツコツと続けることが大事であると力説。「コツコツする力は他にも生かせる。一生涯もち続けてほしい」と参加者に熱く語りかけられました。

途中で「休憩にしましょう」と、お手製のクラシックギターの演奏も2曲披露してくださり、その哀愁を帯びた音色も素晴らしく、笑いあり、感動ありのとても素敵な秋の一日となりました。

推進委員



感想

- ・コツコツ出来る力はいろいろなことに役立つと感じました。好きなことを友達と一緒に続けて健康人生を過ごしたいです。
- ・健康長寿人生、どきどき、わくわく感を感じながら生きることの大切さ、好きなことに没頭する大切さを感じました。
- ・自分の気持ちの持ち方を変えていく参考になりました。